

道立真駒内公園とその周辺

品川 睦生

真駒内公園の近くの現在の家に
住みだしてから約15年になりましたが、当初この公園は探鳥地と
言うより私の散歩コースで、公園
内の外周遊歩道を約3km歩くの
でした。春の5月初旬にはカタク
リ、マイヅルソウ、エゾエンゴサ
ク、スマレなどの群生を見ることが
できます。公園内には何種類か
のサクラが植えられており、長い
間その花を見ることができます。

真駒内公園から北海道青少年会館

につながる「ふるさと散歩道」は、カタクリの群落のほか、エンレイソウ、ミヤマエン
レイソウ、フクジュソウ、エゾエンゴサク、キバナノアマナなどが咲く花畑として見る人を楽
しませてくれます。でも、最近少し荒れてきたのかし、配です。また、多くのモミジやナナ
カマドなどが植えられているので、秋には紅葉も楽しむ事ができます。

公園の大きさは約85haで、緑地面積だけでも約46haあります。総延長10kmの遊歩道が
あり、ジョギング、ウォーキング、サイクリングにも利用されます。また今年の冬のシー
ズンから外周道路が整備され、歩行者用と歩くスキーの通路が区分され整備されたので、冬
でも歩きやすくなりました。

この公園の歴史は明治9年にエドウィン・ダンが来札して「真駒内放牛場」が開かれてか
ら始まり、その後、本町を除く真駒内全域が種畜場として、酪農の改良や普及に大きな役割
を果たしました。終戦後は米軍に接収されて基地が建設されましたが、その付帯施設として
設けられた米軍専用ゴルフコースがほぼ現在の園地に相当するそうです。

その後道営の森林公園として道営が始まりましたが、昭和47年の冬期オリンピック札幌
大会の主会場となり、屋内・屋外の競技施設が造られました。公園造成も平行して進め
られ、昭和49年に造成完了、一般に開放されたのは昭和50年8月からです。



道立真駒内公園とその周辺

この公園で鳥を見たり、また写真に撮るようになったのは、今から2年前、見知らぬ人からこの公園内に流れている真駒内川でヤマセミを見ることができると言われ、半信半疑でカメラを担ぎながら散歩したのが始まりでした。

まず外周道路を一回りすると、ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラなどのカラ類、そしてアカゲラ、コゲラ、ヒヨドリなどを見ることができます。またキノコ広場西側のトドマツ林の中にはエゾリスが生息しています。誰がするのかわかりませんが、木の幹にペットボトルを使用した餌台が設置されており、冬場にはエゾリスやカラ類を見ることができます。太陽の広場には人工池があり、ポンプアップされた水が用水路を流れて流れて入っています。この他にはアヤメ、カキツバタ、ミズバショウの花が咲きます。またマガモが30羽ほどおり、公園を散歩する人から餌をもらう風景を見ることができます。

公園内の中央橋から真駒内川沿いのサイクリングロードを上流に向けて歩いていくと、いよいよお目当てのヤマセミやカワガラスなどを見ることができます。2005年10月から2006年4月頃までは行く度に見ることができました。2005年には子育てをするのを見ることができたそうですが、2006年は残念ながら見られませんでした。過去にはこの公園近くの真駒内川沿いの崖でカワセミが営巣していたそうです。残念なのはこの川で子育てしていたカワガラスの営巣中に、川の調査を行っている人が営巣場所に近づき、これが原因か、夏から秋にかけてはカワガラスを見ることができませんでした。でも、昨年11月と今年3月には姿を確認していますので、また営巣することを期待しています。

2006年秋の渡りのシーズンには大変にぎわいました。10月の初めから太陽の広場の小さな池のマガモの中に1羽にオスのオシドリが混じっていました。このオシドリは結構気の強い鳥で、自分より大きなマガモを追いかけたり、公園を散歩する人から餌などを貰い元気にしていたのですが、11月末になると元気がなく人工池の隅でじっとしているようになりました。12月初旬、池が結氷すると何処かに飛んでいったようです。10月初旬にはイカルの群れがサクラの木の下でしきりに餌をついばんでいました。11月初旬から約1ヶ月は公園内のナナカマドやシラカバの木に、ヒレンジャク、キレンジャク、ツグミ、ハチジョウツグミ、ウソ、アカウソ、マヒワ、アトリなどが次々と現れ楽しませてくれました。多い時には100羽ほどの群れが2箇所を確認できました。渡ってきた当初の11月初旬には、遊歩道の側のナナカマドにとまって実を食べるのに夢中で、人が木の下を通っても飛ぶ事もなく、じっくりと写真を撮ったり、双眼鏡で観察することができました。最後にはギンザンマシコのオス・メスが現れ、鳥を見る人を楽しませてくれました。その後は真駒内団地や水源地通りで見ることできたそうです。

帰りにぜひ寄っていただきたい施設があります。その一つがこの公園に併設されている

札幌市豊平川さけ科学館です。館内にはサケに関する展示がされており、多くのサケの仲間が水槽に飼育されています。また屋外観察地では夏には餌やりが体験できます。秋にはサケが卵を生む様子を観察できるそうです。1～2月には孵化したサケの赤ちゃんが展示され、春には放流体験ができます。

地下鉄真駒内駅近くのエドウィン・ダン記念館にも寄って下さい。この記念館は真駒内公園の前身である旧北海道庁種畜場にあった庁舎が移設されたものです。そこには、北海道の開拓の中で牧草地や畜産施設の整備に尽力し、わが国の農業・畜産を発展に導いた功労者であるエドウィン・ダンについての資料が展示されています。また記念館の隣に植えてあるオシロイにはエゾヤマザクラが「実生」しており、毎年春には美しい花を見ることができます。

なお、真駒内公園の駐車場は4月29日から11月3日までは土・日・祝は有料となりますので注意してください。